

教育委員会（ 11月 ）会議録						
招 集 年 月 日	令和 2年11月26日（水）午後 2時00分					
招 集 の 場 所	白馬村役場 2階 庁議室					
開閉会の日時 及 び 宣 言	開 会	令和 2年11月26日（水）午後 2時00分				
	閉 会	令和 2年11月26日（水）午後 3時40分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	平林 豊	委 員	伊藤公一	委 員	田口令子
	教育長職務代理者	幅下 守	委 員	西澤みどり		
事 務 局	生涯学習センター課長	関口久人	教育課長	横川辰彦	子育て支援課長	下川浩毅
	公民館長	横川秀明	教育指導員	塩島 学	子育て支援係長	松澤拓哉
	生涯学習係長	渡邊宏太	教育係長	鈴木広章		

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和2年10月定例会の会議録について

[教育長]

意見を求めたが特に発言はなく、承認された。

3 報 告

○教育長

毎年行われている「税についての作文」で白馬中 3年の奥野結愛さんが、国税庁長官賞を受賞されました。全国 4,877校から 313,725編の作文が寄せられ、奥野さんのほか 39名の生徒が長官賞に輝きました。

11月3日の白馬村表彰式で、教育功労者として、前・子ども会育成会連絡協議会長の工藤哲男氏が表彰されました。

5日にB&G全国教育長会議が開催され、千葉大藤川教授による「ポスト・コロナ期の教育」の講演、渋谷区西原小後藤教諭によるICT教育システム及び、中津市教育長による「コロナ対策とB&G事業の推進について」の事例発表がありました。どこもコロナ禍の中、学びを止めないために苦労されたようです。

12日に白馬国際フォーラムが開催され、学校だより拡大版を配付してありますので、後でご覧ください。

12月15日から31日まで「年末の交通安全運動」が実施されます。児童生徒の交通事故防止の徹底と交通安全教育の一層の充実を図るよう、各学校へお願いをしました。

○教育課長報告

11月2日からスクールバス・タクシーの運行を始めています。大きなトラブルは発生していません。今年度は試験運行ですので、運行から1月を経た12月1日から一部ルートと運行時刻の変更を行います。具体的には落倉・和田野線をループ運行からピストン運行に、登校便の学校到着時刻を7時40分から8時にしています。

12月3日に第1回の学校のあり方検討委員会を開催します。第1回は、委嘱状の交付、現状について説明をします。今年度中に3回の開催を予定しています。

11月4日から高校支援系の視察で広島県及び島根県の高校、連携型中高一貫校を訪れました。教育委員会が各年代で育てたい子どもの姿を教育目標に掲げていました。高校は県教育委員会の管轄になりますが、市町村と連携をとり学校運営していました。

○子育て支援課長報告

令和3年度のしろうま保育園・白馬幼稚園の入園申込がされています。家庭的保育事業を1月から実施予定でいる。その関係で6号補正を要望しています。0～2歳児で最大5名を受入可能です。

病児病後児保育を、10月から大町病院で実施しています。大北圏域では38名の登録があり、白馬村の登録は6名です。実際の利用は大町市と松川村のみです。

○生涯学習スポーツ課報告

11月1日、コンバインド記録会を開催しました。26日にNTCエリートアカデミーの県教育委員会との打合せを行いました。8月の4週間に村内 中原館を借り切り、NTCトライアルを行いました。全国から男子3名女子3名の6名が参加(飯山高校1名含む)しています。これを通年化したく、県教委と協議しましたが、通信制高校に入学する等の意見がありました。状況を精査し、具体化に向け努力します。

○公民館長報告

10月31日、席書大会を開催しました。小中学生40名が参加しました。書については、文化祭で展示しています。

11月6～8日に第50回白馬村文化祭を開催しました。感染症対策により展示のみ行いました。1,000人の来場者がありました。芸能については、ユーテレ白馬で放送しています。

○学校報告

11月24日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、教育係長・子育て支援課長から報告した。

[西澤委員]

・家庭的保育の保護者負担は保育園と同額なのか。

[子育て支援課長]

・保育園と同額の負担です。国・県・市町村で負担を折半しています。3歳未満児が対象です。最大5名まで受入れ可能なので、積極的に活用します。

[教育長]

・未満児は59人からしろうま保育園の入園申込があったが、最大何人まで受入れ可能なのか。

[子育て支援課長]

・最大の受け入れ可能人数は56名です。

4 議 事

○報告第25号 白馬村就学支援委員会における対象児童生徒の就学判断結果について

・子育て支援課長が、資料に基づき報告した

11月25日までに、対象者全員と合意形成が終了し、その結果について12月定例会で議案上程する。

[教育長]

・定期的な判断をしていくことが望ましいと判断欄に記入があるが、ということか。

[子育て支援係長]

・記入のある児童については、特別支援学校への入学判断を受けた者です。しかしながら、特別支援学級に在籍しています。この児童については、現状について就学支援委員会で把握し、就学に問題がないか見守っています。

[教育長]

・定期的な判断は1年に1度で良いか。

[子育て支援係長]

・その通りです。

○議案第74号 令和2年度 白馬村一般会計補正予算(第6号教育関係)について

・各課担当課長・係長が、資料に基づき説明した。

生涯学習スポーツ課補正内容 ナショナルトレーニングセンター事業

子育て支援課補正内容 家庭的保育実施に係る委託料等の増額補正

教育課 職員手当の減額補正

[田口委員]

・家庭的保育の運営について詳細を教えてください。

[子育て支援課長]

・運営は、しろま保育園に在籍していた保育士が新たに開業する。保育士とその配偶者と、給食提供が義務となっている関係で調理員 1 名の 3 名で運営します。1 事業所で 5 人まで受入れができます。

開所にあたっては、保育士免許を有する者と、県の行う研修参加が義務となっています。これらの人的要件と保育施設の面積要件をクリアできれば、開所でき、延長保育にも対応してもらいます。場所は八方口区 ジゼルの1階部分を借り、12月中旬まで改修を行い、1月からの事業実施を予定しています。

[教育長]

・質疑を求めたが特に発言はなく、全員賛成で可決された。

○議案第75号 白馬村教育委員会事務局組織規則等の一部改正について

・生涯学習スポーツ課長が、資料に基づき説明した。

次年度からの教育委員会 3 課の事務分掌の変更について規則改正を行うもの。

生涯学習スポーツ課に属していた、生涯学習担当を教育課へ移管するもの。

[教育長]

・質疑を求めたが特に発言はなく、全員賛成で可決された。

○議案第76号 区域外就学の許可について

・教育係長が、資料に基づき説明した。

[教育長]

・質疑を求めたが特に発言はなく、全員賛成で可決された。

5 その他

(1)震災アーカイブ看板について

森上区(撓曲箇所)・堀之内公民館・蕨平区(崩落箇所)・三日市場地震伝承館・城嶺神社の 5 カ所に設置した震災アーカイブの看板について説明。QR コードを読み込むことで震災当時の被災状況画像が見られる。

11 月 22 日には、この 5 箇所を自転車で巡る震災ツーリズムを行った。信州大学 廣内教授の協力を得て実施した。

(2)令和2年度白馬村スキースポーツ育成振興奨励金の授与について

クロスカンтриー1 名、ジャンプ 1 名、ジャンプコンバインド 1 名 合計 3 名の受賞者案を示した。12 月 1 日の白馬スキークラブ団結式で表彰予定。

(3)安曇野市教育委員の異動について

(4)図書館等複合施設基本計画について

生涯学習係長から、図書館等複合施設基本計画について、これまでの経緯と詳細説明を行った。

[西澤委員]

・候補地について採点結果があるが、項目等、何か採点の基準はあるのか。利用者の利便性や複合化施設で実際に利用する小さな子どもの視点を取り入れられていないように感じる。利便性は誰にとっての利便性を示したのか。

[生涯学習係長]

・有識者会議の意見に基づき、計画策定の中で村と委託業者で決めたもので、採点基準はない。

[西澤委員]

・これでは、実際の利用者の声は届いていないように感じる。

[幅下教育長職務代理]

・子育て施設と図書館を一緒にして複合化することとした。住民の視点、子育て世代と児童生徒の視点を取り入れて欲しい。今後はどのように進めていくのか。

[生涯学習係長]

・官民連携は、有識者会議でこれから人口減少社会を迎え、村の税収入も減少する中で、少しでも収益を上げ、維持管理費を捻出できるようにという考え方のもとで始まった。そういった視点では、人通りの多い地点、駅・大通りに面した土地等が高い点数を得ている。

[生涯学習スポーツ課長]

・今後については、官民連携の有効性を検証する。白馬駅については、官民連携で一番優位性が高いとされている。子育て施設が駅に設置で良いのか、それらを検証・精査し、結果を示したところで住民との意見交換をできればと考えている。

[伊藤委員]

・JR 施設の改修等には一般的に時間を要すると思うが大丈夫なのか。

[生涯学習スポーツ課長]

・村の要望を JR に伝えても、大きな組織なので決裁を得るまでに 1 年程度かかっている。駅に決まり実際に工事する場合でも、駅の営業と並行しての工事となり、多くの時間を要することが予想される。

[教育長]

・昨年 7 月 10 日に、村議会が研究会を立ち上げ、報告書を村長に提出した。研究会は、白馬駅に複合化施設の設置を反対している。図書館を JR 白馬駅に置く場合には、子育て施設は別の場所に設置することを要望していて、白馬駅への複合化施設設置は、再考すべきとしている。

複合化施設として計画を進め、白馬駅に設置出来ない時に次の候補地を考える。

[生涯学習スポーツ課長]

・白馬駅の設置については、賛成の方もいれば反対の方もいる、これらの方々に精査した内容の資料を用意したい。

[生涯学習係長]

・仮に駅を建て替える場合には、JR 東日本は駅舎機能しか持たない建物を建築する。

[伊藤委員]

・それでは、官民連携の意義はどうなりますか。

[生涯学習係長]

・他の民間企業が、図書館や複合施設設置を知り、出店を希望する等を想定している。

[西澤委員]

・これまで、現在の子育て支援ルームのように、園庭へ行けば豊かな自然と触れ合える、そんな環境を考えていたが、白馬駅に設置ではそういった白馬村の良さは無くなる。窮屈な子育てになってしまう。誰にとっての利便性かも一度考えて欲しい。

[生涯学習スポーツ課長]

・1 月ないし 2 月の定例会で、白馬駅設置の官民連携について精査した結果を報告したい。

(5)行事予定

○12月の行事日程について

○定例会について

12月23日(水)午後2時から 庁議室で行う。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	